



おたよりコーナー

11月号の環境の特集には、たくさんのお便りをいただきました。いくつかご紹介します。

リサイクルを実践して進める子どもたちを知り、自分たちも見習わなくてはと思いました。

生ごみリサイクルは、ここ何年かで活発になっているので興味深く読みました。ごみ有料化は、いろいろな問題があると思いますが、物を大切にするという基本的な心を忘れないようにしたいと思います。

指定ごみ袋を買ってみてびっくりしました。こんなにごみを減らさなくてはいけないのかと...。でも地球のため、佐世保のために協力したいと思います。

ごみ有料化は、知っておくべきことなので勉強になりました。一人ひとりの努力がごみ減量化へつながると思います。まず、自分がやれることから始めようと思います。

(広報係から)
 たくさんのお便りありがとうございました。いよいよ、1月10日から家庭ごみの新しい出し方が始まります。わたしたちは、より良い環境を未来の世代へ残すことができるよう、環境問題に取り組まなければなりません。今後とも広報させばでは、環境についての記事を掲載していきたいと考えています。

広報クイズ

問題の 中に文字を入れてください。答えのヒントは、紙面の中にあります。
 全問正解者の中から抽選で、今月は新年をお祝いして10人に図書券をプレゼントします。紙面の都合上、発表は発送をもって代えさせていただきます。

- 問題 吉井町にある 観音は、旧平戸藩の時代から平戸八景の一つに数えられ、広く知られています。
- 問題 旧戸尾小学校跡地に「させぼ市民活動交流」がことし4月にオープンする予定です。
- 問題 「海軍さんのビーフシチュー」と「 ぜんざい」は、佐世保の新たな名物として注目されているメニューです。

前回の答えは パブリック 28 保健でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

これってどんな意味？

「アサーティブネス」とは？

行政用語やカタカナ用語などで、「耳にはするけど、よく分からない」というものがあれば、お寄せください。

アサーティブネスとは、直訳すると「自己主張すること」ですが、コミュニケーション（意思伝達）の方法の用語として用いられるときは、自分の意見を押し通すことではなく「相手の権利を尊重しながら自分の気持ちや要求を素直に、誠実に、対等に表現すること」を意味します。

アサーティブネスは、1970年代のアメリカに始まり、責任を伴った主体的な自己主張や自己表現および交渉の方法論として、欧米を中心に取り入れられてきました。

現在では、男女共同参画センターや公民館、企業

管理職や医療スタッフの研修などさまざまな分野で広く活用されています。

皆さんは、自分が伝えたいことをどのように相手に伝えたらよいか悩んだり、コミュニケーションの難しさを感じたりしたことはありませんか。

もしも、アサーティブネスに基づいた表現で皆さんにメッセージを送るとしたら、次のようなものになるでしょう。

『自分の意見を素直に主張し、嫌なことにははっきり「ノー」と言おうよ。そして、そんな自分を好きでいていいよ』

市男女共同参画推進センター・スピカでは、1月29日にNPO法人アサーティブジャパンのスタッフを迎え、「アサーティブトレーニング入門講座」を開催します（本紙17ページ参照）。

ぜひ、ご参加ください。

お尋ね
 市男女共同参画推進センター・スピカ
 (☎23・3828)

思い出の一枚

昭和20年代の佐世保市営棧橋

右上の写真は、昭和20年代の万津町市営棧橋第1のりば（市立図書館所蔵）です。当時の市港湾課に勤務していた中本昭夫さん（76歳）が撮影しました。当時の市営棧橋付近は、現在佐世保港ポータルネッサンス21計画で埋め立て地になっていますが、棧橋は旅客待合所前の海上に設けられていました。ここからは近海航路や五島航路の船が発着していました。写真の向かって右側手前に係留されているのは、西彼杵半島行きの鹿島丸で、その後ろは五島航路の船。左側手前は大村湾行きの船で、その後ろの2船は、旧崎戸炭鉱と旧大島炭鉱所有の社船です。市営棧橋旅客待合所は、昭和36年、木造の建物が鉄筋コンクリート2階建てに、さらに昭和47年に3階建ての万津ターミナルビルになり、ポータルネッサンス21計画による旅客待合所移転後は、市管理のビルとなっています。平成15年12月には、埋め立て地に近海航路の船などが発着する新みなとターミナルが完成しました。



昭和20年代の佐世保市営棧橋



現在（新みなとターミナル付近）

【懐かしい佐世保の写真をお寄せください】
 写真にまつわるお話と住所、氏名、電話番号を書き、「思い出の一枚」担当あてと明記してください。